

やっぱり家づくりは楽しい!

# LOVE HOME ができるまで

我が家の家づくり  
全てお見せします!

2008年10月。

私、工藤一行の自邸「LOVE HOME」が完成しました。

今まで施主様と「あ~でもない こ~でもない」と2人3脚でやってきた家づくりと違い、施主と施工主を自分自身でやるのは変な気持ちでしたが、カミサンと話し合い、私のモットーでもある楽しい家づくりは出来たと思います。



やっぱり家づくりは楽しい!

# LOVE HOME ができるまで

我が家の家づくり  
全てお見せします!

はじめに

1. 総体予算を考える

2. 土地探し

3. ローン

4. プランをつくる前に

5. プランをつくる

6. ショールーム～建材編～

7. ショールーム～水周り編～

8. 見積りから契約まで

9. 現場着工

10. 家具・家電について

11. 照明配線・照明器具

12. 現場の真っ最中

13. 造作家具 スタジオM

14. 現場終盤

15. 完成

## 1. 総体予算を考える



2007年9月に「この土地欲しいな～」と思って撮った写真です。  
1年後に住めるとは思ってもいませんでした。

自分が家づくりを始めようと本格的に考えてのが2007年の夏。

軽く土地探しをしたりしていたのですが、土地を購入する前に総体金額を決めていなければ  
後で痛い目にあいます!

総体予算とは大まかの所で、「土地金額」「住宅金額」「諸費用金額」「家具・家電金額」「その他金額」というところでしょうか。

「土地金額」はそのまま土地の値段ですね。

そのときに諸費用もいくら掛かるか聞いたほうが良いです。(固定資産や手数料など)

「住宅資金」はお家の値段ですね。

契約金額の他にエアコンや照明器具カーテンなど契約金額に入っていない所もあるので注意!

「諸費用金額」ローン諸費用・登記費用・水道納付金などの金額です。

ここが忘れがちなので注意。

「家具・家電費用」新しいお家になれば家電を新しく買い換える物も多い。

家族で話し合おう。

「その他費用」は引越しや地鎮祭・上棟などの費用。

家づくり中に貯金すればなんとかなる費用ですが・・・

### LOVE HOME では

LOVE HOMEで予算を作り始めたのが、土地を絞った時に作成。

「この土地を買ったら総額いくら掛かるんだろうか?」と。

八街は土地の値段が激安なので、考えやすかったのですが(笑)、最終的にLOVE HOMEは  
最初に作成した総額予算と最終的に掛かった予算は変わりませんでした。

予算内でちょこちょこ変わったのは多々ありましたが。

#### アドバイス!

これからお家をつくる人は、土地を購入する前に工務店に相談に行った方がいいと思います。

大きな金額は土地とお家の値段です。

自分達が住みたいお家はいくら掛かるのか聞いてから土地金額を決めた方がいいでしょう。

細かく考えると後で大きな差はでないが、考えすぎると疲れてしまうので、大まかでもいいと思います。

土地を高く買いすぎて家にお金が掛けられなかった・・・

家電やソファが変えなかった・・・ などが無い様に。

2.土地探し ▶



やっぱり家づくりは楽しい!

## LOVE HOME ができるまで

我が家の家づくり  
全てお見せします!

はじめに

1. 総体予算を考える

2. 土地探し

3. ローン

4. プランをつくる前に

5. プランをつくる

6. ショールーム～建材編～

7. ショールーム～水周り編～

8. 見積りから契約まで

9. 現場着工

10. 家具・家電について

11. 照明配線・照明器具

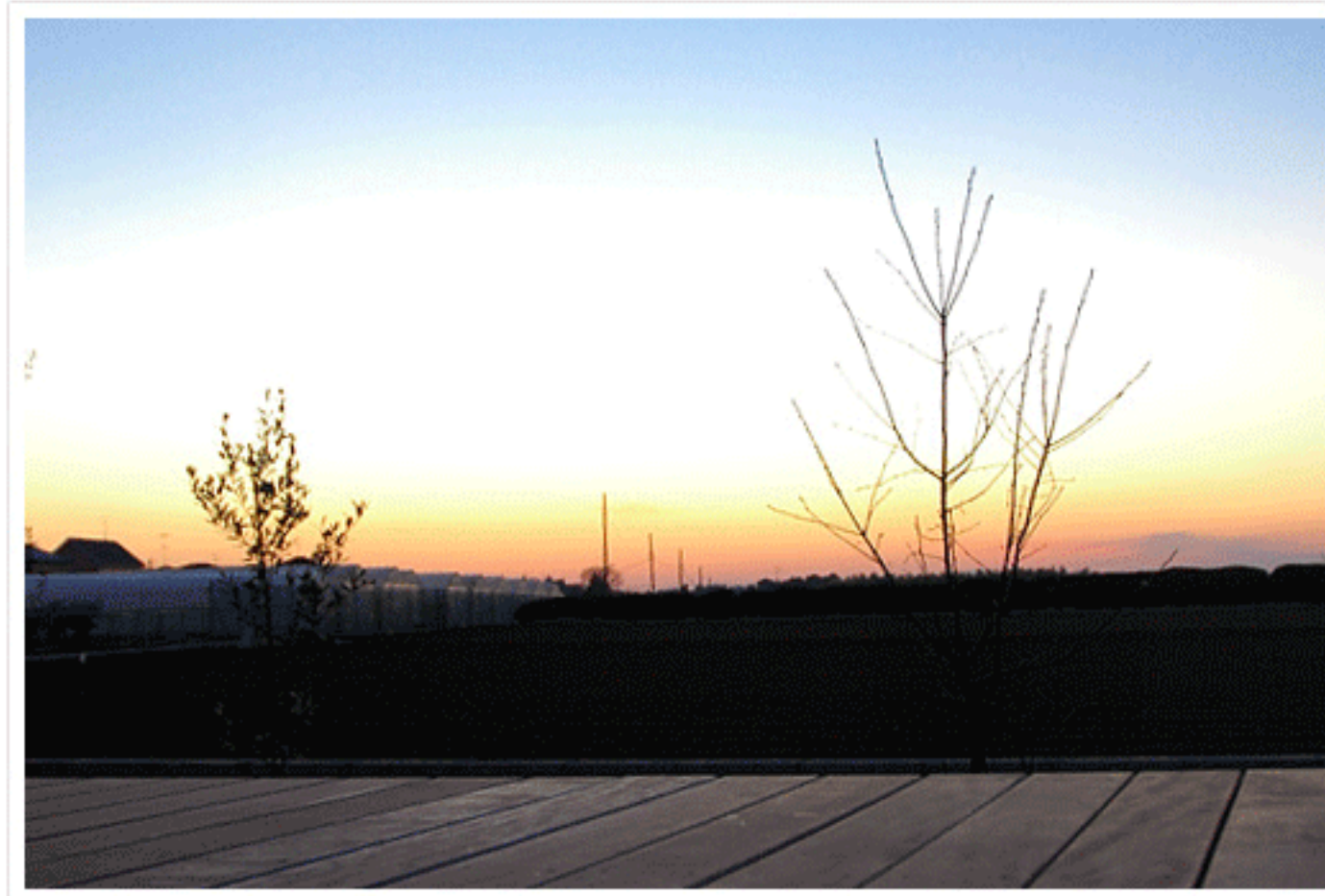
12. 現場の真っ最中

13. 造作家具 スタジオM

14. 現場終盤

15. 完成

## 2. 土地探し



LOVE HOMEからはこんな綺麗な夕日が見えます!

自分達で土地探しのポイントは特になかったのですが、一番重要だったのは「住んでいるイメージが沸く」という気持ちの問題だけでした。細かい所でカミサンの要望で「国道に面した所はイヤだ（子供の危険）」自分は「八街だから大きな土地が欲しい」という所だけでした。駅が近いとかは要望にありませんでした。

夏から秋にかけてインターネットや情報誌から土地情報を見て探したのですが、住んでいるイメージが沸かない……

探しながら、前から気に入っている土地もありました。自分が前に住んでいたアパートの帰り道にポツンとあった空地です。夕日が綺麗で写真を撮っていたのですが、ここは水道も下水も完備されていない、土地金額の他に約200万ほど費用が掛かる土地でした。

何ヶ月か色々悩んだのですが、一番重要だった「住んでいるイメージが沸く」はこの土地しかなく、夕日を見ながら食事を作ったり、ビールを飲みたい!とどんどん気持ちが強くなるばかり。

カミサンとは「ここしかないよね～」状態。

唯一、社長が反対していたのですが「お前達が良いならしょうがない!」と最後は折れてもらい、その土地で決めたのです。

自分達は要望も少なく地域も絞られており、他の方よりは簡単に決まった方だと思います。本格的に探して土地が決まるまで3ヶ月ぐらいでした。

### アドバイス!

土地を決めるのも大変な事です。自分達の要望が全て満たされる土地は1%もないかと思います。運も重要です（時期で出る出ないがあります）。

お家もそうですが優先順位を決めることです。

「予算」「場所（地域）」「大きさ」「駅に近い」「あそこの学校に行かせたい（学区内）」

自分達にとって、重要な所から順位を付けていくことが重要です。

後は時間です。「いつまでに住みたいのか」が決まっている人は、お家の完成から逆算していくと（工務店に相談。）、いつまでに土地を購入しなければいけない。が決まります。

時間がある人は、じっくり自分の満たされたお土地を探しても良いと思います。

後は「住んでいるイメージが沸く」も重要です!



やっぱり家づくりは楽しい!

## LOVE HOME ができるまで

我が家の家づくり  
全てお見せします!

はじめに

1. 総体予算を考える

2. 土地探し

3. **ローン**

4. プランをつくる前に

5. プランをつくる

6. ショールーム～建材編～

7. ショールーム～水周り編～

8. 見積りから契約まで

9. 現場着工

10. 家具・家電について

11. 照明配線・照明器具

12. 現場の真っ最中

13. 造作家具 スタジオM

14. 現場終盤

15. 完成

### 3. ローン



家族で土地の寸法を測りにいった時の写真です。

やはり家づくりに必要なのが住宅ローンです。

住宅ローンを使わない人は読まなくても大丈夫です(笑)

今住宅ローンの借入先ですと「銀行」「フラット35(住宅金融支援機構)」「ろうきん」「JA」といったところでしょうか。

借入先は金利が安い所で探しがちですが、その他諸費用の金額も違うし、今勤務先と取引先の銀行など選択することができます。

後は変動金利、固定金利を決めなくてははいけません。

固定金利でも3年固定、5年固定、10年固定、35年固定などがありますが、3年固定とは3年間は同じ金利で借りて3年後に、その時の金利で5年金利にしたり、10年金利に変えることができます。

35年固定金利とは借入れ期間中はずっと同じ金利で借りる事ができます。

この辺は個々のライフスタイルや考え方があるので、どれがベストとは言えませんが、

何も考えないで金利の安い3年短期などで借りていて、将来的に金利が上昇して払えなくなるケースが増えて可能性があるということです。

5年後の金利がどうなっているか分かりませんが、安い金利で最初に一気に頑張って返すのも作戦だし、将来の金利を心配せずに35年間一定の額を払うのも良いと思います。

一番ベストなローンを探すなら「住宅ローンアドバイザー」に相談がベスト!

#### LOVE HOME では

私はフラット35で借入れをし、月々の支払いのみにして、将来の生活費の計画ができるようにしました。最初は銀行ローンとフラット35の50:50が良かったのですが・・・。

◀ 2.土地探し

4.プランをつくる前に ▶



やっぱり家づくりは楽しい！

## LOVE HOME ができるまで

我が家の家づくり  
全てお見せします！

はじめに

1. 総体予算を考える

2. 土地探し

3. ローン

4. プランをつくる前に

5. プランをつくる

6. ショールーム～建材編～

7. ショールーム～水周り編～

8. 見積りから契約まで

9. 現場着工

10. 家具・家電について

11. 照明配線・照明器具

12. 現場の真っ最中

13. 造作家具 スタジオM

14. 現場終盤

15. 完成

### 4. プランを作る前に



会社から色々な資料を持って帰り、夜、プランを作っていました。  
お客様の家と自宅と考えるのに大変な時期でした！

土地も決まり、やっとお家のプランを作りはじめます。

プランを作るといっても、全て作り手側にお任せというのも注文住宅では寂しい感じがします。

家づくりは住む人と作る人がタッグを組んで一緒に悩み、考えて、アイデアを出しながら作っていきます。

プランを作る前に家族会議を開いて個々の家づくりの夢や想いを言ってみましょう。

「こんなお家に住んでみたい」「バスコートがほしい！」「大きな吹き抜けが欲しい」など話し合うだけで家族間の家づくりの考え方がまとまっていき、コンセプトも明確になってきます。

後は、今住んでいて不満だと思っている事など書くのも良いかもしれません。

家族間で話し合ったら、色々な本を見てイメージ作りも大切です。

住宅の本はちょっと高いので、図書館でも良いと思います。本屋さんで「このお家が良い！！」と思えるのは購入してお家でじっくり見ましょう。

写真を見ていくと「リビングの見え方はこんな感じが良い！」「このフローリングの色が好み」などでできますので、カラーコピーやスキャニングして、ファイルにまとめると後々楽になると思います。

#### LOVE HOME では

LOVE HOMEでのコンセプトは

「LDKから綺麗な夕日が見えるようにしたい。」

「スキップフロアで楽しい空間」

「LDKからの葉がりのウッドデッキ」

「丁度良い吹き抜け」

「札幌に住んでいる親戚が泊まれる部屋」

「自分の服を1Fで解決」

「寝室 子供部屋は小さくても良い」

僕がプランを作る前に工藤家で考えたコンセプトです。

工藤家というより自分の考え方がこの辺は強いと思います。

夕日が綺麗な土地だからこそ、家で活かさない訳にはいきませんからね。

優先順位は上から強い順番かな。

やはり、私もカミサンと定休日なのに工藤工務店のスタジオにきて本を見まくりました。

気に入った写真はコピーをとってファイルにいれて保管しながらプランを作りました。

ここでどんな家の形にしたいとか、木が見える空間のバランスなどイメージが出来上がっていききました。やっていなかったらチンパンカンパンの家だったかもしれません。

◀ 3.ローン

5.プランをつくる ▶



やっぱり家づくりは楽しい!

## LOVE HOME ができるまで

我が家の家づくり  
全てお見せします!

はじめに

1. 総体予算を考える

2. 土地探し

3. ローン

4. プランをつくる前に

5. **プランをつくる**

6. ショールーム～建材編～

7. ショールーム～水周り編～

8. 見積りから契約まで

9. 現場着工

10. 家具・家電について

11. 照明配線・照明器具

12. 現場の真っ最中

13. 造作家具 スタジオM

14. 現場終盤

15. 完成

### 5. プランを作る



完成模型があるとイメージも膨らみます

No.4で出したコンセプトや要望をまとめ、プラン作りに入っていきます。

私とお客様の大きな違いは、私（施主）がプランを作るという事、お客様は私達と作り上げるということが大きな違いです。正直参考にならない所No.1かもしれません。

#### LOVE HOME では

プランを作り始めて3日で今のベースは出来上がりました。

No.4で出したコンセプトで出来なかったのは「吹き抜け」という所だけでした。初日でプランを作った時からスキップフロアと吹き抜けの両方必要なのか？という所を考え、優先順位でスキップフロアをとったのです。こういう時優先順位を決めておくとなります。

途中で社長があ〜でもない。こ〜でもない。と色々言われたのですが、「社長の言うとおりの」という点が1点あったので、その所はプラン変更し、自分を変えたくないと思った所は無視しました（笑）

プラン完成まで1ヶ月で出来上がりましたが、もし、私が工務店でなく一般客だったら、3~4ヶ月掛かっていたと思います。

ちなみに社長から言われたのが

「なぜキッチンの向きがこうなんだ！」

「なんで西側にサッシが多いんだ！」

「水廻りとリビングの位置がおかしい」

などありました（笑）LOVE HOMEを見た方は分かると思いますが。

今回自分で自宅のプランを作っていて思ったことがありました。自邸は自分で解決してしまうので簡単&スピーディだという事。色んな方の施主様と作り上げてきましたが、自分が思ってもいないような考えを出してきたり、要望が出てきて、色々話し合っ、悩み、考え、パーン！とアイデアが浮かび2人3脚で作っていました。

施主様と作り上げる大変だった思い出が、施主様の家づくりの愛着や強さになるという事を本当に感じました。

じゃあ、自分の家づくりを考えていくと、今までのオーナー様達が僕を育ててくれたので、

オーナー様たちが「このお家に住んでいる人に作ってもらったんです」と自慢できるようなお家にしようと思ひ、

オーナー様が作ってくれた引き出しを出しまくって考えました。

その想いが妥協せずに進んだのかもしれない。

#### アドバイス!

自分達の要望を全て満たすと坪数が大きくなったり、要望同士がぶつかる事もあります。

その時に自分達のコンセプトや要望で優先順位を決めておくと、自然にどちらを優先するのか

決まっていきます。どちらも譲れない時は両方優先すると金額が上がってしまうのか、

他におかしくなる所が出てきたり色々あります。施主様と話を詰めていくと、今までにないようなアイ

デアが浮かぶ場合もありますが、何時間話し合ってもどうしようもない時もあります。

その時は要望のどちらかを選択しなければいけない決断がある事もあります。

遠回りすることもあります。納得するまで家族同士や工務店の方々と、とことん打ち合わせする事です。

◀ 4.プランをつくる前に

6.ショールーム～建材編～ ▶



やっぱり家づくりは楽しい!

# LOVE HOME ができるまで

我が家の家づくり  
全てお見せします!

はじめに

1. 総体予算を考える

2. 土地探し

3. ローン

4. プランをつくる前に

5. プランをつくる

6. ショールーム～建材編～

7. ショールーム～水周り編～

8. 見積りから契約まで

9. 現場着工

10. 家具・家電について

11. 照明配線・照明器具

12. 現場の真っ最中

13. 造作家具 スタジオM

14. 現場終盤

15. 完成

## 6. ショールーム～建材編～



フローリングメーカー マルホンさんのショールームにて。  
カミサンが気に入ったフローリングをリビングに使用しました。

プランも完成に近づき、内部のイメージづくりをしていくために、実際の実物を見にショールーム巡りに行きます。  
まずは建材編!

### LOVE HOME では

この辺も私がメーカーの事を把握しているので、メーカー選びには困らず(笑)  
しかし、床の好みや建具のデザインや色など、カミサンと相談になるので実際に家族で見に行かないといけません。

LOVE HOMEで実際使用したメーカーですが

- 床 無垢専門店 マルホンさん 無垢フローリング専門店 KODAMAさん
- 建具 神谷コーポレーションさん
- 壁 こだわり珪藻土 EM MAXさん
- タイル 名古屋モザイクさん 平田タイルさん

普段から工藤工務店でお付き合いある会社さんがメインで使っております。  
自分が好きな建材を薦めているので、違うのもおかしい感じが(笑)  
ちなみに平田タイルさんだけが、建築中に紹介してもらって急遽採用しました。

実際全てのショールームに見学しました。

1日で何件か見に回った時もあれば、珪藻土は実際の色を見るだけに川崎まで行った時もありました。実物を見ることでイメージも沸くし、カタログだけで決めてしまい後で「実際の色とカタログの色が違う～」ということも少なくあります。

一番の思い出はフローリングメーカーのマルホンさんのショールームですね。

マルホンさんのショールームは東京のオゾンビルの中にもあるのですが、静岡県浜松市にある本社のショールームは日本一ではないかと思うほどの規模の大きさです。  
本気で床を探したい方には行くことをオススメします。

朝4:30出発してパーキングで朝食食べながらショールーム始まりの9:00着。

大体のフローリングのイメージは合わせて、ショールームに挑んだのですが、カミサンが最高峰ショールームにやられてしまう。

最初の3分でカミサンが気に入った材料を発見するが、確実に予算オーバーだったので断念したのですが、他に「これだ!」と思える材料が見つからず・・・

こういう場合は本当に気に入った材料を使うべきだと考え、最初にカミサンが気に入った材料を使うことにしました。予算がオーバーした分は他の所で予算を削って調整しました。最後に浜松名物の鰻を食べてゆっくり静岡を堪能しながら帰った思い出があります。

### アドバイス!

やはり、実物を見るということは大事です。

家を建てるにあたって一番多い後悔は、イメージ違いがダントツです。全てショールームで見て回ることができればいいのですが、難しい場合はサンプルで実際の色を確認することは絶対です。特にタイルはカタログと色、柄が違いますので要注意です。

建材メーカーは各会社で標準仕様というものがありますので、その中で選らばなければいけないかもしれませんが、自分で雑誌やインターネットで自分の好みの建材を探すのイメージづくりの近道ともいえます。



やっぱり家づくりは楽しい! /

## LOVE HOME ができるまで

我が家の家づくり  
全てお見せします!

はじめに

1. 総体予算を考える

2. 土地探し

3. ローン

4. プランをつくる前に

5. プランをつくる

6. ショールーム～建材編～

7. ショールーム～水周り編～

8. 見積りから契約まで

9. 現場着工

10. 家具・家電について

11. 照明配線・照明器具

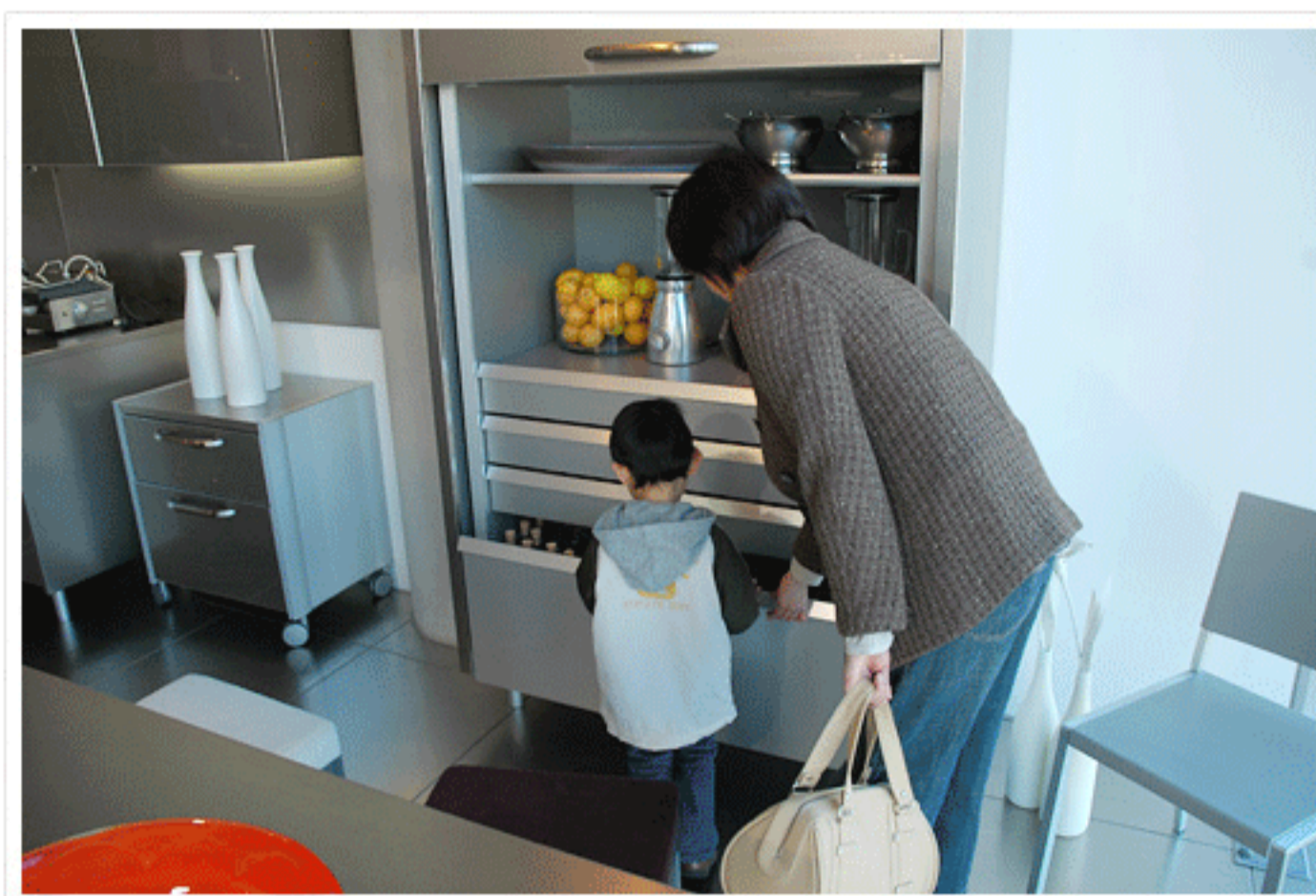
12. 現場の真っ最中

13. 造作家具 スタジオM

14. 現場終盤

15. 完成

### 7. ショールーム～水周り編～



トーヨーキッチンのスタジオ（ショールーム）にて見学。

建材編の次は水周り編です。

LOVE HOME では

LOVE HOMEの使用設備です。

- キッチン トーヨーキッチン&リビングさん
- 洗面関係 大洋金物さん
- ユニットバス ヤマハリリビングテックさん
- トイレ TOTOさん

設備も自分が施主様にオススメしているメーカーさんだらけですね（笑）

キッチンに関しては自分がトーヨーキッチンを使いたかったので、カミサンに色々と説明して納得してもらい、ショールームへ。キッチンのシリーズやカラーは、やっぱり気に入ったモノを使ってほしいのでカミサンに選んでもらいました。

私が思っていたより奇抜なデザインを選んでビックリしましたが、気に入って選んだので決定しました。一回目にショールームに行ってから、ほとんど変更はなかったです。

洗面所に関しては、普通の洗面化粧台ではなく「魅せる」を優先にカッコ良く作ってあります。カッコよく見せるならば大洋金物さんはオススメです！

メインの洗面台は大洋金物さんのオススメのボウルで。

トイレのトイレ手洗いはカミサンがデザインがカワイイという事で決定。

こっちも一回のショールームで決定しました。

浴室は予想以上に簡単に決まったんです。

ショールームに見学に行ったときに、遊びで浴槽のカラーを私の好みの色で、壁の色をカミサンが決めた色で、ショールームにあるミニチュアで作ってみたら予想以上に気に入ってしまい、「じゃあヤマハにしよう」と決定。タイミングですね。

決まっていなかったらINAXのラバスにしていた可能性もありました。

トイレはいつも使っているTOTO。1Fはデザインが気に入っているネオレストA1、

2Fは予算がないのでタンク付きのウォシュレット一体型トイレにしました。

想がトイレの自動開閉が怖いらしく、今は自動開閉を止めて使っています。

#### アドバイス!

この水周りは予算にとって一番怖い所でもあります。

キッチンだけでも50万～100万と金額が変わってきますので、契約前に見積りはどのレベルが

入っているのか、自分の好きな設備はこのメーカーのシリーズなのか、色々なショールームをまわって探すことは絶対やったほうがいいです。実物を見るのは必須です！

契約してから追加見積りで困ることがないようにしてください。

◀ 6. ショールーム～建材編～

8. 見積りから契約まで ▶





やっぱり家づくりは楽しい！

LOVE HOME ができるまで

我が家の家づくり  
全てお見せします！

はじめに

1. 総体予算を考える

2. 土地探し

3. ローン

4. プランをつくる前に

5. プランをつくる

6. ショールーム～建材編～

7. ショールーム～水周り編～

8. 見積りから契約まで

9. 現場着工

10. 家具・家電について

11. 照明配線・照明器具

12. 現場の真っ最中

13. 造作家具 スタジオM

14. 現場終盤

15. 完成

## 8. 見積りから契約まで



想の嬉しそうな顔（笑）スッキリとした気持ちで地鎮祭に臨みたいですね。

自分のイメージのプランや設備・建材が見つかったら、見積りです。

### LOVE HOME では

6年間、工藤工務店で色々なお客様の家づくりをお手伝いしてきましたが、一回目の見積りで予算内で収まった方は、ほとんどいません。

私も自分の使いたい設備、建材を入れて見積もりを作ってみたら200万オーバー（笑）  
「やっぱり・・・」という気持ちもありましたが予想していたため、「どうやって予算をおつけていくか」という気持ちに切り替えていきました。

ちなみに、工藤工務店の見積りシステムは大手メーカーのような本体価格にオプションを追加の簡単見積もりではなく、外壁の面積から、サッシ一本一本の価格まで細かく見積りしていき、A4サイズ20枚にもなる詳細見積りを作っています。  
作るまで時間が掛かりますが、減額案を作るのは簡単なのです。

減額案として2つあります。

- ・設備・建材で金額を落としていく方法
- ・プランを縮小していく方法

私としてはプランを縮小して後で増築する方法もありますが、最初に作る以上に予算が掛かるので、まずは設備・建材を見直すことです。

#### LOVE HOMEで減額 その1「トーヨーキッチンのシリーズを変更し減額」

- ・減額というよりカミサンが気に入ったのが見積りより安いキッチンだったから（笑）

当初自分が使いたいキッチンが現実を考えたら「高いな～」とも思えてきて、カミサンが使いたいキッチンならOKでしょう！ということで減額。

#### LOVE HOMEで減額 その2「珪藻土も極力自分で塗る」

- ・リビングなど見える部分は頼みましたが、子供部屋やトイレなどは自分で塗りました。

#### LOVE HOMEで減額 その3「外壁ジョリパット仕上げを低汚染タイプから通常の仕上げに」

- ・砂埃がすごい場所なので、汚れが見立たないように濃い塗装をする予定でしたが、少しでも汚れないように低汚染タイプで考えていたのですが、アイカ工業の担当者が「濃いカラーは低汚染タイプでなくても大丈夫」というアドバイスも頂き、通常のジョリパットのゆず肌仕上げにしました。

その他、「2F子供部屋をホールにして建具と壁面を減らした作戦」などもあり、100万近くは減額しました。

後、100万を減額する方法は、プランを縮小する案か、もっと設備や建材を落とす案しか残っていません。無理して100万円落として満足度50点より、100万円多く借り入れて満足度100点の方を選択しました。100万円借り入れて、月々4000円程度です。家計を考えると大変になることは絶対ですが、家族の一大イベントの家づくりです。何十年も住んだ愛着度を考えて安いと考えました。

色々検討した結果、大きなプランの改革をしないで、設備、建材で100万減額。  
残りの100万を追加融資という結果になりました。

そして、プランと見積もりが合致しまして契約と至りました。  
簡単に説明していますが私も色々悩みに悩んで契約までたどり着きました。

### アドバイス！

前回のショールームでも話しましたが契約までに、どの仕様が見積りになっているかを確認することです。  
キッチン、お風呂などは要注意！  
プランと見積りを合致させるまで時間と労力が必要になってきます。  
言いたくないですが、家族で「本当に必要なのか？」と話し合うことも必要です。  
「絶対欲しい！」という夢は絶対に諦めないで下さい。自分もそうでしたが予算が100万近い所まで頑張つて、後は譲れない夢ばかりでしたら、それは実行する方をオススメします。諦めたモノは未練が残ります。



やっぱり家づくりは楽しい!

## LOVE HOME ができるまで

我が家の家づくり  
全てお見せします!

はじめに

1. 総体予算を考える

2. 土地探し

3. ローン

4. プランをつくる前に

5. プランをつくる

6. ショールーム～建材編～

7. ショールーム～水周り編～

8. 見積りから契約まで

9. 現場着工

10. 家具・家電について

11. 照明配線・照明器具

12. 現場の真っ最中

13. 造作家具 スタジオM

14. 現場終盤

15. 完成

### 9. 現場着工



基礎工事と想です(笑)

図面と見積りの両方納得できて無事契約できました。

契約までいきましたら、建築の許可をとるための確認申請の提出と、性能表示の設計評価の提出になります。

提出後は窓の大きさや建物の位置など変えることはできません。確認申請の出し直しで無駄なお金が掛かってしまいますので、契約までにしっかり決めておきます。後戻りはできません。

約1ヶ月で確認申請と設計評価がOKになりますので、これで基礎工事が始められます。

あ・・・地盤調査は契約前に終わらせておきました。

地盤が弱くない場所と分かっているながら、地盤補強がでたら嫌ですからね。

LOVE HOMEも補強することなく、基礎工事を着工することができました。

基礎工事は性能表示の建設評価の1回目 鉄筋検査があります。

鉄筋の配筋完了時に検査を行います。

基礎工事が終わったら、上棟になります。

上棟は2日間に分けて行い、雨に濡らすことなく上棟を終えました。

上棟後は大工さんと食事会を行いました。

LOVE HOME では

#### アドバイス!

契約前から上棟までの時期は、施主様は意外とお休み期間ですね。

プラン作りで頑張った分、家族でゆっくり過ごしてもいいですし、モザイクタイルなど見に行ったり、家具や照明器具を見に行ったりするのも良いと思います。

この時期に動けると後々が楽になります。

◀ 8.見積りから契約まで

10.家具・家電について ▶



やっぱり家づくりは楽しい!

## LOVE HOME ができるまで

我が家の家づくり  
全てお見せします!

はじめに

1. 総体予算を考える

2. 土地探し

3. ローン

4. プランをつくる前に

5. プランをつくる

6. ショールーム～建材編～

7. ショールーム～水周り編～

8. 見積りから契約まで

9. 現場着工

10. 家具・家電について

11. 照明配線・照明器具

12. 現場の真っ最中

13. 造作家具 スタジオM

14. 現場終盤

15. 完成

## 10. 家具・家電について



フクラ社のベッドの説明を聞くカミサン。この時期はそんなに忙しくないの家具探しは最適です。

### LOVE HOMEでは

後回しになりやすい「家具」「家電」。

住宅資金の残りのお金で買ったり、時間がないから近くの家具屋さんで済ませたり。と、なってしまう方が多いです。

LOVE HOMEでは資金計画時に新しい家具、家電購入会議を開き、予算を確保。

そしてプラン中に気に入ったソファや家電を探しに回り、図面に家具の寸法を入れていきました。そうすることで、気に入ったソファがリビングに納まらない。という事はありません。

搬入通路も確認です。

予算も削られやすい所ですが、気に入ったソファがあれば、なんとか予算を残したい気持ちも出てきます。

家電に関しては造作家具に入れる事がなければ、寸法が入らない等ないですが、予算は確保したいですね。

### アドバイス!

一番良いのはプラン中に見に行くのがベストですが、できなければ時間のある契約前後。

現場が始まると家具、家電をゆっくり見ていられる時間は少なくなります。

最近多くなってきた、手作りのテーブルなどは木から探さなくてはいけないので、

自分の気に入った木を探すまで時間が掛かりますので、作りたい方は早めに動いた方が

良いと思います。



やっぱり家づくりは楽しい!

LOVE HOME ができるまで

我が家の家づくり  
全てお見せします!

はじめに

1. 総体予算を考える

2. 土地探し

3. ローン

4. プランをつくる前に

5. プランをつくる

6. ショールーム～建材編～

7. ショールーム～水周り編～

8. 見積りから契約まで

9. 現場着工

10. 家具・家電について

11. 照明配線・照明器具

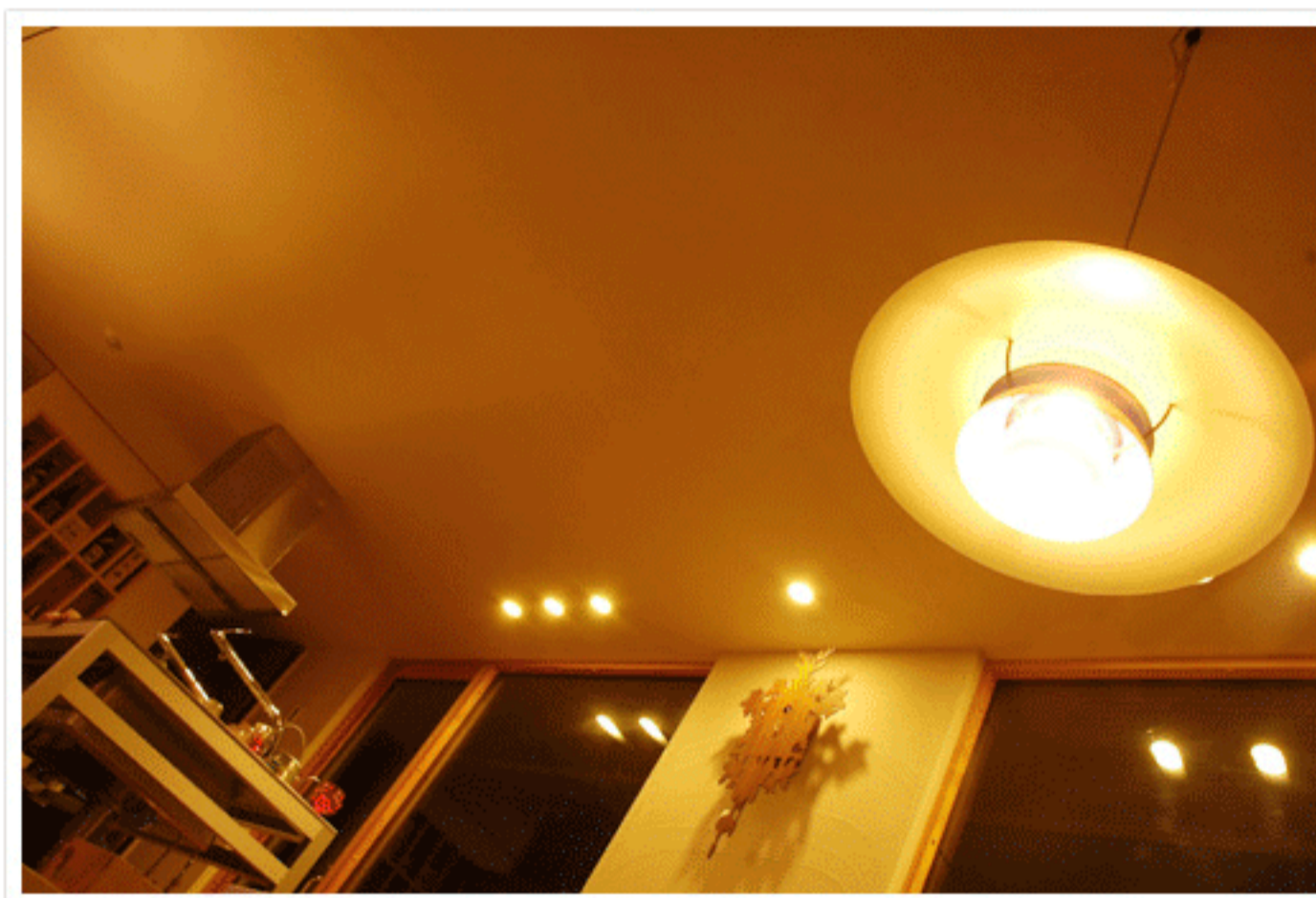
12. 現場の真っ最中

13. 造作家具 スタジオM

14. 現場終盤

15. 完成

## 11. 照明配線・照明器具



ダウンライトを集中させることで、明るさも強調され広がりもです。

照明配線は現場が始める前に平面図とにらめっこしながら原案を作り、それを基に現場でもう一度確認しながら訂正して決めていきます。この照明器具は本当に難しいんですよ。

明るい・暗いは人によって違うし、実際に使う照明器具を現場で照らしてみよう判断することなど出来ませんからね。特にリビングなどの照明計画は各会社さん違いますからね。

### LOVE HOME では

まず、私の照明計画の根本的な考えですが、

#### その1 明暗の強弱を付けることによって、空間の広がりを見せる

明るすぎるほどダウンライトは付けることはしないが、みんなが集まるソファや本を読む所、作業をする所などには照度を集中させます。

だから、家具に位置やサイズ、向きなど決めておいた方が綺麗に照明計画が作れます。

#### その2 ダイニングテーブルは絶対ルイスボールセンのPH5がオススメ。

私の家づくりで確実に影響された照明器具です。

私はアパートにいた時にカミサンにお願いして買ってもらい、5年ほど使用して、LOVE HOMEのテーブルの照明器具としても使用して、飽きのこないデザインなんです。

夕焼けの青と赤が混ざったような明かりが本当に綺麗で、照明に照らされた食事もう一段美味しく見えるのです。

#### その3 ダウンライトの大きさは100φ、そして蛍光灯は白っぽい昼光色ではなく電球色。

ダウンライトの大きさは100φが最も丁度いい大きさで、何かない限り100φをオススメしています。後、好みになってしましますが、白っぽい蛍光灯は工場みたいで嫌。本来「HOME」なんですから温かみのある電球色がいいじゃないですか。

胸をはって威張れる照明の考え方ではないですが、簡単にお話しますとこんな感じです。

LOVE HOMEの照明計画は特にリビングの照明は少ないです。

ですが、自分で言うのもなんですが、カッコいいし、明かりが欲しい所はしっかり明るいのです。

「魅せる」と「見える」を両立した出来上がりになっています。

後は白熱灯と蛍光灯を使い分けですね。

長い時間に居そうな所は蛍光灯の電球色、あまり居る事のないトイレや洗面カウンター、寝室の調光ダウンライト等白熱灯を使用しました。

### アドバイス!

最初にも言いましたが、実際に使う照明器具を現場で確認することができませんから、博打もんですよ。だからといって、明るすぎる照明計画も無駄に器具代が掛かってしまうし、つまらない空間になってしまいます。

もし、暗くなってしまった場合でも、スタンド照明を付けられるようにコンセントを部屋の角に入れておくのは良いと思います。部屋の角を照らすと空間に広がりがありますので。これから建てる人は安価になってきたLEDも検討できますので、検討の幅が広がりますね。



やっぱり家づくりは楽しい!

LOVE HOME ができるまで

我が家の家づくり  
全てお見せします!

はじめに

1. 総体予算を考える

2. 土地探し

3. ローン

4. プランをつくる前に

5. プランをつくる

6. ショールーム～建材編～

7. ショールーム～水周り編～

8. 見積りから契約まで

9. 現場着工

10. 家具・家電について

11. 照明配線・照明器具

12. 現場の真っ最中

13. 造作家具 スタジオM

14. 現場終盤

15. 完成

## 12. 現場の真っ最中



出来上がったばかりの酒棚です。4合瓶を現場に持っていきサイズを決めました。

### LOVE HOME では

現場も上棟して木工事の真っ最中。

家づくりで一番大事な時期。現場の打合せが満足度を左右するほど大きな事です。

LOVE HOME は近場ということもあり、朝仕事に行く前とか、現場の帰りなどに現場に寄る事ができたので、棟梁とは細かい打合せや作業に入る前の高さの確認など出来たことで、

「あ～～こうすれば良かった・・・」という所が一つもありません。

予算上削った所などは仕方ない事ですが、予算の範囲で「あ～したい。こ～したい」は満点だったですね。

たとえば、日記「sentire Vol.24」の話や「sentire Vol.25」などは現場に行かなかったら分からなかった所です。

リビングの酒棚（ニッチ）も現場に行ったときに大きさと奥行きなど打合せをして作ってもらいました。こういうのも現場なんですよ。

### アドバイス!

一番は現場に行くことです。

私と現場打合せするときだけですと、1週間や2週間に1度。もっと現場に通ってもらい大工さんに「ここの納まりはどうなるんですか?」「ここの壁にニッチが欲しい」など、気付いた事は言ってください。

平面図での打合せだけでは、分からなかった部分が現場では見えてきますので、出来上がってからでは遅いです。出来上がる前に現場でお話できるようにしましょう。



やっぱり家づくりは楽しい!

LOVE HOME ができるまで

我が家の家づくり  
全てお見せします!

はじめに

1. 総体予算を考える

2. 土地探し

3. ローン

4. プランをつくる前に

5. プランをつくる

6. ショールーム ~建材編~

7. ショールーム ~水周り編~

8. 見積りから契約まで

9. 現場着工

10. 家具・家電について

11. 照明配線・照明器具

12. 現場の真っ最中

13. 造作家具 スタジオM

14. 現場終盤

15. 完成

## 13. 造作家具 スタジオM



群馬の銘木屋「ウッドショップ開口」にてウォールナットの板を購入しました。  
買った時の嬉しさは今でも覚えています。

LOVE HOME では

テレビボードからダイニングテーブル、洗面所のミラーや収納扉など魅せたい部分は最近の工藤工務店ではお馴染みのスタジオMの江澤さんに依頼しました。元々ヤマギワで働いていた江澤さんはデザインを知っているので、オススメでもカッコ良く仕上げてくれる素晴らしい造作家具屋さんです。

### ■造作家具と現場の進行状況

現場が進んでいく中、造作家具の打合せも一緒に進めていかなければなりません。テレビボードなど現場で取り付け完了しないと、周りの壁の仕上げが出来なかつたりして、現場を遅らせてしまう事もあります。ダイニングテーブルは設置するだけですが、気に入った天板を見つけるためには時間が必要になります。

私の動きとしては、1回目の打合せを基礎工事が始まる着工前に行いました。平面図を渡して作ってほしい家具のイメージを伝えて、後は「こうしたら良いんじゃない」など、おおまかな打合せ。そのイメージのスケッチを江澤さんに作成してもらい、詳細部分の打ち合わせを上棟後1か月後くらいに現場にて打合せをしました。

建具やテレビボードのデザインや作り方は、ここの打合せで決定。

後、ダイニングテーブルの板です。当初、自分のイメージの大きさは、長さ1.8m巾90センチの1枚板のローテーブルを作る予定でいました。予想以上に困難だったのが巾90センチの板が少ないのです。杉の1枚板などあったのですが、イメージが違うのでパス。今考えれば1枚板にこだわらなければ良かったのですが、当時はなぜか1枚板にこだわっていたんですね。スタジオMの帰りに群馬県の銘木屋さんに行った時に見つけたのが、長さ3.9m巾70cmのウォールナットの1枚板でした。予定していたサイズではないが、長さを2m以上とれば面白いテーブルが作れるのではないかと思い、その日は一人だったので、後日、家族とスタジオMの江澤さんと現地で見てもらいました。検討していた3枚の中から、良さそうな木を3人で選び決定。LOVE HOMEのメインでもあるダイニングテーブルは、長い木を巧く利用したデザインになりました。本当に気に入っています。

### アドバイス!

造作家具の一番のポイントは、空間と一体感の家具になるということです。安い家具よりは高価になってしましますが、世の中に一つだけの家具は愛着も違います。無垢のダイニングテーブルなど孫の代まで引き継がれるテーブル事を考えると安いもんです。スタジオMの江澤さんは長野県の佐久市に工房を構えていますが、東京での仕事が多いので、事前に行っておけば千葉で打合せもできますし、絶対に作ってもらって良かったと思えます。これから工藤工務店の家づくりに欠かせない人物になってきています。



やっぱり家づくりは楽しい!

## LOVE HOME ができるまで

我が家の家づくり  
全てお見せします!

はじめに

1. 総体予算を考える

2. 土地探し

3. ローン

4. プランをつくる前に

5. プランをつくる

6. ショールーム～建材編～

7. ショールーム～水周り編～

8. 見積りから契約まで

9. 現場着工

10. 家具・家電について

11. 照明配線・照明器具

12. 現場の真っ最中

13. 造作家具 スタジオM

14. 現場終盤

15. 完成

### 14. 現場終盤



最後のクリーニングも自分で行いました。  
費用削減もありますが、最後は自分の手で掃除をしたかったですね。

現場も終盤になると、現場の仕上げのチェックで現場に行く回数も増え、ローンの金消契約の準備、引越しの準備、外構工事の打合せ、新しい家具や家電など、色々な事を決断したり、動いたり、一番忙しい時期です。

#### LOVE HOME では

壁内収納やニッチ、腰壁などの高さは、現場の中盤で打ち合わせをしているので、その辺はチェックだけで済みますが、終盤ではクローゼットや押入れなどの内部を確認と、造作家具などの確認になりますが、みるみる壁など仕上がっていくので、現場は随時チェックしに行きます。

ローンの金消契約の準備ですが、私は表示登記は自分で行いました。通常10万円掛かる費用ですが、施主様で登記をされた方もいたので、自分でやらない訳にはいかないと思っていました。その様子は [こちら](#)でご覧ください。

ローンの金消契約は、手がプルプルになるほどの自分の名前を書きましたが、何千万というお金を借りるので、しょうがないですね。

私の施主様のお話で大変そうだった引越しの準備は、アパートからLOVE HOMEまでの距離が400mだったので、引越し屋に頼む事なく、自分達だけで行いました。

通常は、

- 【1】 .ダンボールに詰める
- 【2】 .ダンボールから取り出す
- 【3】 .所定の場所に仕舞う

LOVE HOMEは、【1】・【2】を省いて、一気に【3】を行いました。

場所が近いということ、少量ながら夜に車2台で運び、所定の場所に仕舞って行きました。

運ぶのに時間が掛かりますが、引越してからダンボールの山を開けるよりは、良いかなと思いました。近いから出来たんですけどね。

外構工事の方は少し皆さんと違うかもしれませんが、構想は出来ていたんですが、LOVE HOMEよりは、施主様の工事が優先なので、引越し前後に工事が出来る事はなく、3ヵ月後に工事を行ったので、参考になりません。

その分ゆっくり考えることができたので、逆に良かったんですけどね。

引越し前に行うのであれば、現場の中盤から打ち合わせをしていかなければなりませんので、その分頑張りなければなりません。

変な外構工事なら、家が出来上がってから、ゆっくり考えるのも手段の一つです。

一番忙しいと言っておきながら、何とかマイペースに進んだんですね。

家電や家具も、早めに見に行っていたので決定していたのも多かったですね。

その分、現場の細かい部分まで見れたかなって思います。

#### アドバイス!

色々な事を考える時期なので、気持ち的にも妥協しやすくなり、「これでいいか・・・」と、思ってしまう事もあるので、家族でしっかり話し合い、投げやりにならない事です。序盤から中盤にかけて余裕な時期に決められる事は決めておくこと、その分終盤が楽になります。気持ちの余裕が絶対に必要ですね。



やっぱり家づくりは楽しい！  
**LOVE HOME** ができるまで

我が家の家づくり  
全てお見せします！

はじめに

1. 総体予算を考える

2. 土地探し

3. ローン

4. プランをつくる前に

5. プランをつくる

6. ショールーム～建材編～

7. ショールーム～水周り編～

8. 見積りから契約まで

9. 現場着工

10. 家具・家電について

11. 照明配線・照明器具

12. 現場の真っ最中

13. 造作家具 スタジオM

14. 現場終盤

15. 完成

## 15. 完成



想いの詰まったLOVE HOMEです。家族みんなが大好きなお家が出来上がりました。

1月1日・・・プラン作り開始

5月27日・・・基礎着工

6月25日・・・上棟

10月16日・・・完成

という流れでしたが、基礎工事から上棟まで1ヶ月は、雨の影響や大安に上棟しなかったため、1ヶ月と少し長かった感じですが、現場はスムーズに進んだほうではないでしょうか。

工藤工務店は、大工さんは下請けに出すわけではなく、工藤工務店の専門（準社員）でやっている大工さんなので、人数も多くなく、ハウスメーカーや大きな会社よりは工事期間が長くなってしまいます。色々な費用が掛かってしまう箇所もありますが、工藤工務店の家づくりでは、やはり「現場」で施主様と話し合っ作り上げていくやり方なので、私は逆に長所だと思っております。大工さんが3人4人と一気に進んでしまっは、LOVE HOMEも少し変わっていたと思います。酒棚や階段の笠木部分を落とした部分も無かったかもしれません。現場がゆっくり進むからこそ、**現場で気付く事**もあると思うんです。

家づくりの満足度は、完成の出来上がりより、プラン作りから完成までに、どれだけ関わって家づくりができたかの工程の方が重要だと思うんです。

### 【総括】

15回に分けて、LOVE HOMEの家づくりを説明してきました。参考になりましたでしょうか（笑）1年前の事なので、比較的思い出しやすいのでスラスラと書いていきましたが、書き終えるまで思ったより時間が掛かってしまいました。すいません。

後、LOVE HOMEの流れではなかった事をお伝えしなければなりません。皆さんは絶対にしなければならないことです。

### 「家づくりの会社選び」

LOVE HOMEでは出てこなかった部分です。当たり前ですが（笑）皆さんの家づくりを左右する大きな選択だと思います。

私からのアドバイスは、自分達の家づくりの想いを受け止めてくれる会社であって、営業、現場等の担当者との相性だったりするのではないのでしょうか。色々な会社に訪問して、家づくりの想いや家づくりの流れ、細かい所の考え方など聞きに行く、工務店巡りをしたほうが良いと思います。そして、「**自分達の家づくりができる会社**」を家族で話し合い決めていく事です。

あなたにとって工藤工務店であれば嬉しいのですが（笑）

工務店側と施主側と、グルグル変わってしまい読みづらいかもしれませんが、長〜い家づくりの流れが少しでも見えてくれたら嬉しいです。

家づくりが終わった後に「**楽しい家づくりだった！**」と、思えるように頑張ってください。

◀ 14.現場終盤

